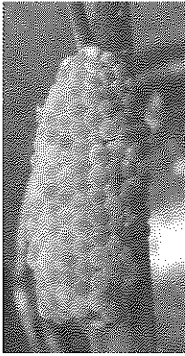


(神奈川県農業振興課・農業技術センター)

水稻害虫スクミリンゴガイ発生急速拡大中！

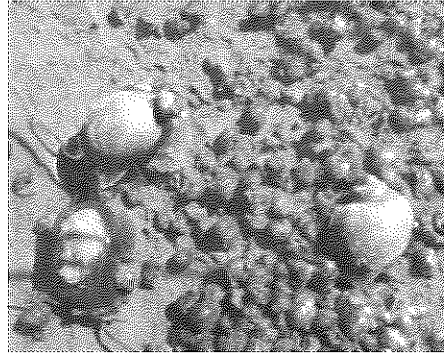
- スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は、水田だけでなく用排水路でも増殖するため、地域ぐるみでの対応が必要です。
- イネ等の食害被害は、水の流れに沿って下流域へひろがるため、用水路上流での発生状況に注意してください。

ふ化直前の卵塊



卵塊がみつかったら防除が必要です

水田でふ化した稚貝と成貝



(令和元年10月現在)



- 発生が確認されている市町
（平塚市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、厚木市、伊勢原市、海老名市、寒川町）
- 発生が確認されている地域

被害を出さないためには

用排水路で増やさない、水田にいれない、出さない

増殖防止

- 用排水路・榊（ます）の泥上げを行い、越冬している貝を破碎する。
- 用排水路・畦畔・水稻に産みつけられた卵塊を潰す。
- 寒期にロータリ耕を行い、貝を掘り起こし寒気にさらすとともに破碎する。

水田への侵入防止

- 水口・水尻に6～9mm目合いの網を設置（代かき前から収穫時の落水前まで）して捕殺する。
- 発生している水田で使用した作業機械は、必ず洗浄する。

食害防止

- 水深が深い所に被害が出やすいので、均平に代かきを行う。
- 移植後約3週間は、浅水管理（約1cm）を行い、成貝の活動を抑制する。
- 額縁明きよ設置、野菜くずの移植後散布も効果がある。

殺貝方法

- 水稻収穫後、水田を3～4cmの湛水状態に保ち、貝が活動し始めたところに、石灰窒素を20～30kg/10a散布し3～4日放置する（水温が高い程効果が高い）。
- 水田入水後、貝の活動が活発になり始めたら殺虫剤（スクミンベイト3又はスクミノン）を散布する。

初めて水田・水路でみつけたら・・・
防除対策の相談をしたいときは・・・
ここに問い合わせしてください

神奈川県農業技術センター
普及指導部作物加工課

TEL0463-58-0333